



南蛮 BVNGO 交流館

南蛮屏風 神戸市立博物館蔵

宗麟の生きた時代を体感



開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入館料：無料
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)
ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌日休館
年末年始(12月28日～1月4日)

所在地：顕徳町三丁目2番45号
電話：578-9191

※「大友氏館跡庭園」の開園時間は上記と同様で
駐車場も南蛮 BVNGO 交流館と共用です。

※BVNGO の表記について：ヨーロッパ最初の日本地図であるティセラ「日本図」に九州全体をラテン語の大文字で「BVNGO」と記されていたことに基づいています。

南蛮 BVNGO 交流館は、大友氏館跡庭園に隣接する施設です。
大友館の床の間をイメージした画面で大友宗麟が自身の半生を紹介してくれる「歴史ゾーン」、大友氏館跡の概要や戦国時代にタイムスリップする物語を見ることができる「シアターゾーン」など、宗麟の生きた時代を映像体験することができます。大友氏館跡庭園では、土・日曜日、祝日限定でボランティアガイドによる解説も行っています(無料)。

ボランティアガイドは予約制ですので、詳細はお問い合わせください。



大おもて遠景復元イメージ(CG)



大分市の歴史文化観光発信拠点！

2030年は宗麟生誕500年の記念年！

大友館その全貌解明を目指し調査中！

『大友氏館跡』を歩きながら、これまでの発掘や調査をもとに再現した映像をVRで楽しむことができます。遺跡のその場に立ち、当時の姿を体感してみてください。

【大友館VRツアー】

館跡を歩きながら、CGで推定復元された大友館のVRを体験できます。専用アプリをダウンロードすることで体験可。南蛮BVNGO交流館でVR用タブレットを無料で貸出しているためスマートフォンを持ってなくても楽しめます。

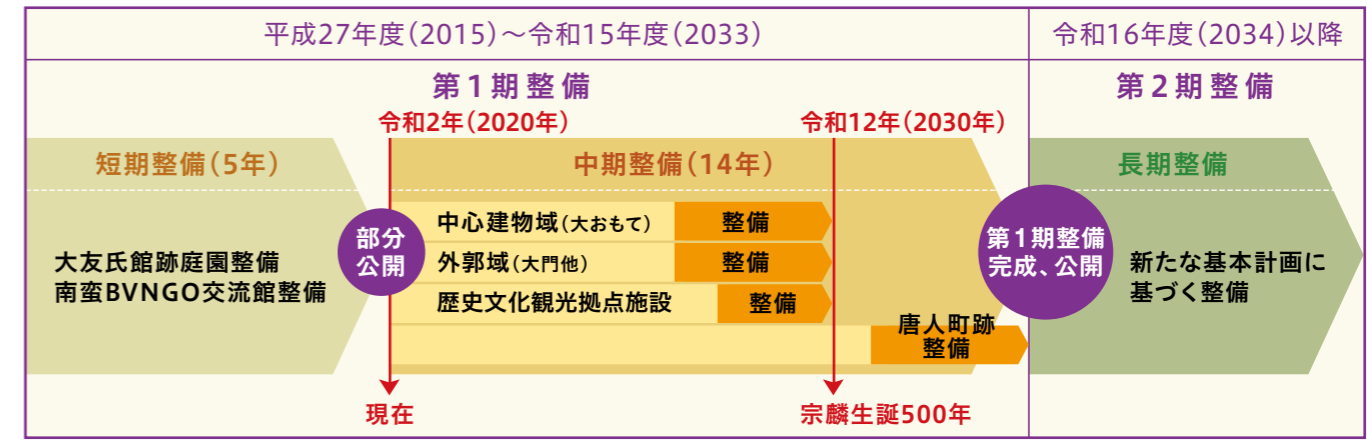


大友館跡中心建物 イメージ(CG)
中村泰朗氏監修

大友宗麟は1530年に、長らく豊後を治めていた名門「大友家」に生まれました。20歳で21代当主になると、その手腕が開花します。時代を読む力があり、南蛮貿易などで大きな富を築きました。そして、同時代を生きた戦国大名の中でも最大級の庭園まで造り上げたのです。そんな宗麟生誕500年を迎える2030年に向けて、市では引き続き発掘調査を進めながら「大友氏館跡」の全体整備に力を入れていきます。館の中心建物である「大おもて」の復元、またカフェや歴史体験も行える歴史公園の整備などを計画しています。「史跡」としての忠実に再現にこだわり、さまざまな調査・発掘、研究を行いながら、豊後を世界に知らしめた大友宗麟が生きたその時代の建物や暮らしの再現を目指しています。どうぞご期待ください。

ザビエルと出会い
南蛮文化が
花開ききっかけとなった
大友氏館跡の今後

【大友氏遺跡・歴史公園整備スケジュール】



歴史資料館テーマ展示第1回 「お屋形様からの手紙」

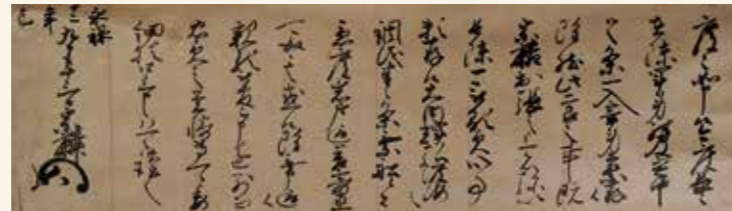
10/3(土) → 11/23(月)

開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日：10月6日(火)・12日(月)・
19日(月)・26日(月)・
11月4日(水)・9日(月)・
16日(月)

場所：歴史資料館(大字国分960-1)
観覧料：大人210円(団体150円)、
高校生100円(団体50円)、
中学生以下は無料

歴史資料館 ☎549-0880



大友宗麟書状

大友氏の当主は、当時の人々から「お屋形様」と呼ばれ、各地の人々に対して多くの書状を出しています。その内容は合戦に関するものだけではなく、家臣との主従関係を結ぶためなど多岐にわたっています。本展示では、歴史資料館所蔵の大友義鑑・宗麟・義統からの書状を中心にさまざまな資料を通して、大友氏をとりまく戦国時代の状況や豊後府内の様子を紹介します。